

大井町環境行動計画（町の行動） 実績報告書

（令和4年度）

令和5年12月

目 次

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）・・・・・・・・・・ 1

個別目標Ⅰ－２ 環境汚染の防止（大気・水質・土壌・有害物質等）・・・・・・・・・・ 3

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－１ 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）・・・・・・・・・・ 5

個別目標Ⅱ－２ 生態系の保全と再生（動植物）・・・・・・・・・・ 7

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷の少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ－１ ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物・資源）・・・・・・・・・・ 10

基本目標Ⅳ（低炭素化社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－１ 地球温暖化対策の推進（地球環境）・・・・・・・・・・ 13

基本目標Ⅴ（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標Ⅴ－１ 環境教育の推進（学校教育・情報提供）・・・・・・・・・・ 16

個別目標Ⅴ－２ 協働による環境保全の推進（協働）・・・・・・・・・・ 16

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）

環 境 施 策

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 景観の保全と良好な都市景観形成の推進 | 4 上水道の安全で安定した供給 |
| 2 快適な道路の整備 | 5 歴史的文化遺産の保全 |
| 3 公園整備・緑化事業の推進 | |

重点施策１ 公害対策推進プロジェクト

町民が安全で安心して暮らせるよう、健康の保護や安全の確保のために、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭等の環境汚染の発生防止を図るとともに発生時における早期対応の徹底を図ります。

また、事業者に対しては、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」や関係法令等に基づき、県と連携し環境汚染の発生防止に努めるとともに積極的な指導等を行います。

関連 施策

- 事業者立入調査
- 町内主要水路水質調査
- 自動車排気ガスの抑制
- 剪定枝破碎処理委託事業

◎事業所の立入調査（生活環境課）

<事業概要>

「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」により指定された事業所等へ県と連携し立入調査を実施し、環境汚染（大気、水質、騒音、振動、悪臭等）の発生防止に努めます。

<実績>

年度	公害苦情件数	立入調査実施率
令和２年度	0	0%（0件/47件）
令和３年度	0	0%（0件/35件）
令和４年度	0	0%（0件/35件）

◎町内主要水路水質検査（生活環境課）

<事業概要>

公共用水域の水質を監視するため、町内の主要水路（９箇所）の水質検査を実施します。

<実績>

平成２２年度から、検査回数を半期に一度、年２回の実施としました。すべての地点において規制値等を上回ることはなく、良好な結果でした。

また、環境の悪化を懸念させるような内容もありませんでした。

◎自動車排気ガスの抑制（生活環境課、総務課、企画財政課）

<事業概要>

自動車の排気ガスの抑制に向けたノーカーデーの実施やエコカーの普及促進及びエコドライブの推進を図るとともに、公共交通機関の利用促進を図ります。

<実績>

ノーカーデーを定めるのではなく、日頃から極力ノーカー通勤とする取り組みを推進しました。

個別目標 I - 2 環境汚染の防止(大気・水質・土壌・有害物質等)

環 境 施 策

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 自動車排ガス対策の推進 | 4 騒音・振動対策の推進 |
| 2 大気汚染対策の推進 | 5 有害物質対策の推進 |
| 3 排水対策の強化 | |

重点施策 2 生活排水対策推進プロジェクト

現在、本町では生活排水による河川・水路等の水質汚染防止のため、下水道の整備、合併処理浄化槽維持管理費の補助など、積極的に生活排水対策に取り組んでいます。

下水道については、昭和50年に整備を開始し市街化区域は概ね終了、現在は市街化調整区域の家屋が密集した地域を中心に整備を行っています。今後も市街化調整区域内の効率的な整備と市街化区域の100%整備を推進します。

また、下水道供用開始区域内における令和4年度末現在の下水道接続率は96.5%に達していますが、未接続の世帯や事業所に対しては個別訪問等をさらに積極的に行い、接続率の向上を図ります。

下水道処理区域外については、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えや適正な維持管理の促進を図ります。

関連

- 下水道整備事業
- 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

◎公共下水道整備事業（生活環境課）

<事業概要>

衛生的な生活環境、河川などの水質保全を図るため、下水道の整備を推進するとともに下水道接続率の向上を図ります。

<実績>

市街化区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化区域内 人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
令和2年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,444	14,444	14,197	98.3
令和3年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,505	14,505	14,258	98.3
令和4年度	348.0	348.0	348.0	100.0	14,661	14,661	14,361	98.0

市街化調整区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化調整区 域内人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域内 接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
令和2年度	1,090.0	99.0	91.9	92.8	2,858	1,286	983	76.3
令和3年度	1,090.0	99.0	92.6	93.5	2,827	1,276	977	76.6
令和4年度	1,090.0	99.0	92.6	93.5	2,759	1,281	1,027	80.2

◎合併処理浄化槽維持管理費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

合併処理浄化槽の普及及び適切な管理を促進するため合併処理浄化槽維持管理費補助事業を実施します。

<実績>

補助事業実績及び合併処理浄化槽設置状況（下水道供用区域外）

年度	補助金交付件数	補助金額（円）	設置基数（累計）	申請率（％）
令和2年度	129	3,869,570	201	64
令和3年度	132	4,017,730	203	65
令和4年度	126	3,848,240	206	61

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－１ 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）

環 境 施 策

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------|
| 1 | 身近な水辺環境の保全 | 5 | グリーンツーリズムの推進 |
| 2 | 緑やせせらぎと調和した都市基盤の整備 | 6 | 農産物の地産地消の促進 |
| 3 | 森林・里山の保全と再生 | 7 | 人と自然の豊かなふれあいの確保 |
| 4 | 環境保全型農業の推進 | | |

重点施策３ 森林・里山再生プロジェクト

森林は地下水の涵養、二酸化炭素の吸収等といった重要な環境保全機能を有しています。本町の森林等は管理が不十分なことから、このような森林が持つ公益的機能が近年損なわれつつあります。

本プロジェクトでは、本町の森林が県内の水源林として重要なエリアに位置づけられているため、神奈川県が進めている、かながわ森林再生５０年構想との整合を踏まえ、水源林となる区域の森林保全・再生整備を推進し、公益的機能の回復・再生に努めます。

また、「おおいゆめの里」を中心とし、ボランティア団体等との協働により復元と保全を図ります。

さらに、近年、丘陵部の里山や農地を中心に、イノシシやシカ等の増殖に伴う農作物被害が深刻化しており、農業者の経営を脅かすとともに、生態系にも影響を与えつつあることから、有害鳥獣の捕獲や被害対策を充実します。

関連 施策

- 地域水源林整備事業
- 「おおいゆめの里」整備事業
- 里山保全活動支援事業
- 有害鳥獣被害防止事業

◎地域水源林整備事業（生活環境課）

<事業概要>

水源涵養、土砂の流失・崩壊防止、里山景観の形成、多様な動植物の生息の場として、森林の持つ公益的機能の再生を図るため、森林整備を進めます。

<実績>

年度	地域水源林整備面積（ha）	整備箇所	地域水源林整備率（％）
令和２年度	35.30	柳地内	47.14
令和３年度	35.30	篠窪地内測量	47.14
令和４年度	36.74	柳地内	49.07

◎「おおいゆめの里」整備事業（地域振興課）

<事業概要>

自然環境を管理・保全し、荒廃しつつある山林を里山に復元しながら集客を見込める花木を適度に植栽し、都市住民との交流施設として整備を行います。

<実績>

おおいゆめの里の風倒木の伐採や剪定を行うなど、山林整備をしました。

・ゆめの里育て隊（ボランティア） 作業回数 11回 延べ参加人数 88名

◎里山保全活動支援事業（地域振興課）

<事業概要>

ボランティア団体「ゆめの里育て隊」との協働により積極的に里山管理を推進します。

<実績>

おおいゆめの里の散策路の草刈りや清掃をはじめ、サルスベリやアジサイの剪定をしました。

◎有害鳥獣被害防止事業（地域振興課、生活環境課）

<事業概要>

有害鳥獣による農作物被害を防止するため、地域とともに被害防止活動を行うとともに防護柵設置補助や有害鳥獣捕獲助成事業を推進します。また、生態系との調和を図りつつ有害鳥獣の駆除を行います。

<実績>

大井町鳥獣被害防止計画に基づき、農作物被害を防止するため、有害鳥獣の駆除を行いました。

イノシシ 44頭 シカ 63頭 ハクビシン 4頭 タヌキ 10頭 アライグマ 2頭 アナグマ 3頭

個別目標Ⅱ－２ 生態系の保全と再生(動植物)

環 境 施 策

- 1 野生動植物の生息・生育環境の保全と再生、適正化
- 2 おおい自然園事業の展開

重点施策４ おおい自然園プロジェクト

大井町にはたくさんの自然があり、町民のこころを豊かに育ませてきました。その自然の素晴らしさを分かりやすく伝えていくため、町全体を自然博物館ととらえた「おおい自然園」事業を展開していきます。

おおい自然園事業は自然観察会の開催や生きもの調査、自然情報の広報等とおして、自然と人とのかかわりを学び、地域の生態系について「親しむ」「知る」「守る」事業です。そして、町民自らが身近な自然を意識することで、生物多様性の保全が促され、町民が自然を大切にする心を養います。

関連 施策

- おおい自然園事業
- おおい自然園事業サポーター養成事業
- おおい自然園自然観察講座
- 大井町史（別編 自然）紹介

◎おおい自然園事業（生涯学習課、地域振興課、生活環境課）

<事業概要>

動植物の生態系を保全するため、町全体を自然博物館ととらえ、自然観察会の開催や生きもの調査、自然についての情報提供を行うとともに「おおい自然園展示会」等を開催します。

※平成２９年度事業から、おおい課外塾事業における自然観察系事業を統合しました。

<実績>

自然観察会・自然観察会講座等を年15回実施するとともに、生きもの（ヒルガオのなかま・ウスバキトンボ）調査と動植物情報（自然NOW）収集・発信を行いました。町広報連載記事を中心に「おおい自然園展示会」を開催し、地域の自然環境について普及・啓発をはかることができました。

年度	事業名		参加者数	参加対象者
令和2年度	せせらぎ田んぼ体験	春	中止	小学生以上の親子
		秋	中止	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	中止	一般
	おおい自然園	自然観察会	春 中止	小学3年生以上（火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上）
			初夏 中止	
			夏 中止	
			秋 10人	
			冬 中止	
		生きもの調査	HP開催	
		川の生きもの観察会	中止	
		夏の虫観察会	中止	
		酒匂川の岩石観察会	10人	
		酒匂川の野鳥観察会	中止	
		火山灰観察会	8人	
		海の生きもの観察会	中止	
		月・惑星・星座観察会	中止	
		冬の星座観察会	中止	
		里山炭焼き体験	中止	
	おおい自然園展示会		192人	一般
令和3年度	せせらぎ親子自然観察ウォーキング・田んぼ体験	春	56人	小学生以上の親子
		秋	中止	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	20人	一般
	おおい自然園	自然観察会	春 12人	小学3年生以上（火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上）
			初夏 14人	
			夏 中止	
			秋 15人	
			冬 6人	
		生きもの調査	23人	
		川の生きもの観察会	中止	
		夏の虫観察会	3人	
		酒匂川の岩石観察会	中止	
		酒匂川の野鳥観察会	中止	
		火山灰観察会	11人	
		海の生きもの観察会	中止	
		月・惑星・星座観察会	中止	
		冬の星座観察会	13人	
		里山炭焼き体験	中止	
	おおい自然園展示会		314人	一般
令和4年度	せせらぎ親子自然観察ウォーキング・田んぼ体験	春	45人	
		秋	中止	
	せせらぎ自然体験ウォーキング	農業体験・ウォーキング	7人	
	おおい自然園	自然観察会	春 15人	小学3年生以上（火山灰観察会・海の生きもの・里山炭焼き体験は小学4年生以上）
			初夏 16人	
			秋 14人	
			冬 4人	
		生きもの調査	24人	
		川の生きもの観察会	12人	
		夏の虫観察会	11人	
		酒匂川の岩石観察会	12人	
		酒匂川の野鳥観察会	13人	
		火山灰観察会	11人	
		海の生きもの観察会	12人	
		月・惑星・星座観察会	15人	
		冬の星座観察会	15人	
		里山炭焼き体験	30人	
	おおい自然園展示会		182人	一般

◎おおい自然園サポーター養成事業（生涯学習課）

<事業概要>

町内に生息する動植物の調査・研究をはじめ、その成果の発信や環境教育・観光における活用につなげます。

<実績>

新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止としました。

◎おおい自然園自然観察講座（生涯学習課）

<事業概要>

町の自然やその観察の仕方について学ぶ講座です。本講座はおおい自然園サポーターのフォローアップ研修会を兼ねて開催しています。

<実績>

五感をフル活用した観察会を行うことで、視覚以外の五感の大切さを学びました。

◎大井町史（別編 自然）の紹介（生涯学習課）

<事業概要>

大井町史（別編 自然）に内容を周知するとともに大井町史の販売を行います。

<実績>

大井町の自然を町広報紙で紹介しました。

年度	掲載月	内容
令和2年度	4	ニホンカナヘビ
	5	コオイムシ
	6	赤土
	7	カタバミ
	8	アカマダラハナムグリ
	9	余見の宝篋印塔
	10	ニホンイノシシ
	11	ヒメアカタテハ
	12	箱根カルデラの形成
	1	ヤブコウジ
	2	アオオサムシ
	3	大井町にも火山があった？
令和3年度	4	イモリ
	5	ベニカミキリ
	6	火山豆石
	7	オモダカ
	8	チャイロスズメバチ
	9	七滝周辺の玉髄
	10	ヒラテテナガエビ
	11	ウスタビガ
	12	ナラ枯れ
	1	ー
	2	オオトビサシガメ
	3	ー
令和4年度	4	トゲアシヒメハナバチ
	5	ー
	6	マルタニシ
	7	ー
	8	ルリボシカミキリ
	9	ー
	10	ヤマトシジミ
	11	ー
	12	スッポンタケ
	1	ー
	2	モズ
	3	ー

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷が少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ－１ ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物・資源）

環境施策

- 1 ごみの減量化と適切な処理の推進
- 2 再資源化の促進
- 3 不法投棄対策の推進

重点施策５ ごみの減量・資源化プロジェクト

近年、ごみ処理の問題は、全国的に将来に向けた大きな懸念材料となっており、ごみの減量化については自治体の大きな課題となっております。

現在、本町では、分別収集、資源回収の推進、段ボールコンポスト普及啓発、書道反古紙再生プロジェクト事業など、ごみの減量化と再資源化に努めていますが、さらに推進を図るため、廃棄物の発生抑制（Reduce：リデュース）、廃棄物の再使用（Reuse：リユース）、廃棄物の再生利用（Recycle：リサイクル）を推進するため、町民や事業者に対する意識の高揚、ごみの減量化の促進や各種リサイクル制度の周知、ごみの分別の徹底、新たな分別の検討などを積極的に行います。

また、本町内の各所では現在もごみの不法投棄が多くみられることから、不法投棄を許さない町として、県・警察さらには町民や事業者等と連携し、不法投棄の徹底的な撲滅を図っていきます。

関連施策

- 廃棄物分別収集事業
- 資源回収奨励金交付事業
- 剪定枝チップ利用促進
- 段ボールコンポスト普及啓発事業
- 書道反古紙再生プロジェクト事業
- ごみ処理広域化事業
- 環境パトロール

◎廃棄物分別収集事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源化の向上を図るため、分別収集の徹底を図るとともに各種リサイクル制度の周知、啓発を努めます。
また、燃やすごみの組成分析調査を実施し、分別収集のあり方の検討を進めます。

<実績>

ごみの分別や排出日の徹底を図るため、「家庭ごみの正しい出し方」を作成し全戸配布をしました。
また、燃やすごみのうち、食品ロスに関する組成分析を実施しました。

年度	1人あたりのごみの量	ごみ資源化率（％）
令和2年度	742 g / 1人・日	23.62
令和3年度	718 g / 1人・日	23.66
令和4年度	684 g / 1人・日	23.39

◎資源回収奨励金交付事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源の有効利用に対する意識を高めるため、地域住民で組織する各種団体が実施する資源回収活動に対し支援を行います。

<実績>

年度	実施団体	延べ実施回数	総回収量（kg）	奨励金交付額
令和2年度	11	28	17,478	56,000円
令和3年度	10	28	16,887	56,000円
令和4年度	10	30	15,302	60,000円

◎剪定枝チップ利用促進（生活環境課）

<事業概要>

剪定枝破砕処理委託事業を通じて生成された剪定枝チップの使用促進を図り、ごみの減量化と家庭菜園等での幅広い活用を促進します。

<実績>

年度	収集回数	収集件数	収集量（t）
令和2年度	97	延べ1,057	137.9
令和3年度	96	延べ1002	126.1
令和4年度	97	延べ952	115.9

◎段ボールコンポスト普及啓発事業（生活環境課）

<事業概要>

燃えるごみに多く含まれる生ごみの減量化と再資源化を図るため、安価で堆肥化が可能な段ボールコンポストの普及促進を図ります。

<実績>

家庭から排出される生ごみについて、段ボールコンポストに投入することでごみの減量と再資源化を図りました。
令和4年度は新規22セットを配布しました。

◎書道反古紙再生プロジェクト事業（生活環境課、教育総務課）

<事業概要>

町内小中学校の書写授業で発生する使用済みの半紙を事業者と契約し再生・再利用し、ごみの減量と再資源化、環境教育を推進します。

<実績>

各小中学校の3年生から6年生及び中学校の書写授業で使用する半紙について、使用済み半紙を事業者が回収、再生し再び使用しています。更にこの流れを説明した上で、再生半紙を活用することで児童・生徒のリサイクル意識が高まりました。

令和4年度実績：大井小53枚、相和小4枚、上大井小13枚、湘光中14枚 ※1枚＝500枚入

◎足柄上地区ごみ処理広域化事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量や資源化、ダイオキシン類の排出抑制を図るため、神奈川県が策定した「ごみ処理広域化計画」に基づき、足柄上地区1市5町によりごみ処理の広域化を推進します。

<実績>

足柄上地区でのごみ処理広域化の推進に向け、平成31年4月に『あしがら上地区資源循環型処理施設整備調整会議』において協議を再開し、令和3年4月には「足柄上地区ごみ処理広域化に向けた基本方針」を策定しました。足柄上地区全体で持続可能な地域社会を構築するためのごみ処理システムを目指し、新可燃ごみ処理施設の建設等に向けた協議を実施してきました。

令和4年度は、ごみ処理広域化に向けた跡地利用、処理方法及び事業主体等の検討、施設の整備にあたって、国からの支援を受けるために必要となる「足柄上地区循環型社会形成推進地域計画」の策定及び地元住民の御理解をいただくための建設予定地の説明会等を実施しました。

◎環境パトロール（生活環境課）

<事業概要>

町内全域を対象とし、環境パトロールを実施し、不法投棄の防止を図るとともに、不法投棄物や散乱ごみを撤去し、二次投棄等の防止を図ります。

また、県、警察と連携し、不法投棄の撲滅に向けた取組を進めます。

<実績>

年度	実施回数	回収した不法投棄廃棄物（t）	回収した美化清掃ごみ（t）
令和2年度	47	4.9	0.0
令和3年度	46	4.5	0.0
令和4年度	47	4.4	0.0

※全て職員で対応したため皆無

※全て職員で対応したため皆無

※全て職員で対応したため皆無

基本目標Ⅳ（低炭素社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－１ 地球温暖化対策の推進（地球環境）

環 境 施 策

- 1 省エネ、省資源に配慮したライフスタイルの促進
- 2 再生可能エネルギーの有効利用の促進
- 3 交通における地球温暖化対策

重点施策 6 地球温暖化対策推進プロジェクト（低炭素化社会）

地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス発生量を抑制する日常生活や事業活動の促進、太陽光発電設備の普及など再生可能エネルギー利用の促進などを図るため、関連情報の充実や国・県と連携した温室効果ガス削減に関する施策を推進します。

また、町も自らの事業活動に伴い温室効果ガスを発生させている事業者であることから、削減目標達成に向けた取組の徹底を図ります。

関連 施策

- 省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業
- メガソーラー設置運営事業
- 住宅用太陽光発電設備設置費補助事業
- エコカー普及促進事業

◎省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業（総務課、生活環境課）

<事業概要>

町の事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を抑えるとともに、積極的に省エネ・創エネ・蓄エネ推進に取り組めます。

<実績>

電気事業法の電力小売自由化に伴い、小売り電気事業者から電力を調達し、各施設の排出量の削減を図りました。

◎メガソーラー設置運営事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化防止及び町有地の有効活用を図るため事業者と連携しメガソーラー設置運営事業を推進し、再生可能エネルギーの普及促進及び環境教育との連携を図り、環境に配慮したまちづくりにつなげます。

<実績>

下山田町有地に「きらめきの丘おおい」を設置し、メガソーラー設置運営事業に関わる事業者を選定し、順調に運営を行っております。

また、篠窪地内に、JAG国際エナジー(株)が「足柄大井ソーラーウェイ」を設置、運営を行っております。

◎メガソーラー設置運営事業の概要

- ・所 在 大井町山田字かたぶた1473番地 外89筆
- ・事業用地面積 68,631㎡（メガソーラー設置面積 約27,700㎡）
- ・設置運営事業者 (株)古川
- ・事業期間 20年
- ・発電開始 平成26年3月
- ・発電規模 2.12メガワット（ND-245（多結晶）245〔W/枚〕） 8,640枚

メガソーラー(2MW)は地球温暖化防止に貢献

- ・一般家庭約600世帯（大井町総世帯数の約9%）分の電力を発電
- ・CO2削減量 約660 t / 年 [原油換算 約480kℓ / 年] [森林面積換算 約180ha / 年]

◎住宅用スマートエネルギー設備導入費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する町民に対し、設置費用の一部を補助します。

<実績>

年度	交付件数	総交付件数
令和2年度	14件	299件
令和3年度	26件	325件
令和4年度	30件	355件

◎エコカー普及促進事業（生活環境課）

<事業概要>

エコカーの普及促進を図るため、電気自動車の購入及び電気自動車用急速充電設備の設置者に対し補助を行います。また、そうわ会館に設置した電気自動車用急速充電器の利用促進を図ります。

<実績>電気自動車等購入補助申請件数

年度	四輪車	二輪車
令和2年度	0件	0件
令和3年度	0件	0件
令和4年度	10件	0件

<実績>電気自動車用急速充電器設置費補助申請件数

年度	急速充電器
令和2年度	0件
令和3年度	0件
令和4年度	0件

基本目標Ⅴ（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標Ⅴ－１ 環境教育の推進（学校教育・情報提供）

環境施策

- 1 環境学習の促進と基盤づくり
- 2 環境情報の的確な提供

個別目標Ⅴ－２ 協働による環境保全の推進（協働）

環境施策

- 1 協働による環境保全・再生活動の促進

重点施策７ 環境教育推進プロジェクト（環境教育）

環境の保全を着実に推進するためには、全ての町民や事業者、これからの大井町を担う小中学生の高い環境意識やモラルを醸成するとともに、各主体が自主的に考え、取り組むための仕組みづくりを推進する必要があります。

環境学習会や情報提供、環境イベントなどを通じて環境についての意識の高揚を図り、本町の環境や地球環境のための自主的な行動が展開される施策を実施していきます。また、主体的な活動を行う組織づくりを推進します。

関連 施策

- 環境展の開催
- 環境出前講座
- エコ・タウンおいおい推進協議会

◎環境展の開催（生活環境課）

<事業概要>

事業者や各種団体等の協力のもと、環境改善に関する技術や活動紹介等を行い、町民等への環境学習、情報提供、意識啓発を行います。

<実績>

年度	来場者数
平成14年度	1,500人
平成15年度	2,500人
平成27年度	800人
平成29年度	1,800人
令和元年度	500人
令和3年度	中止
令和4年度	300人

◎環境出前講座（生涯学習課、生活環境課）

<事業概要>

「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野における出前講座を積極的に推進します。

<実績>

年度	実施回数
令和2年度	7回
令和3年度	1回(おおい出前講座)
令和4年度	3回

◎エコ・タウンおおい推進協議会（生活環境課）

<事業概要>

低炭素化社会、資源循環型社会、自然共生社会の実現へ向けた環境施策の検討、協働による環境施策の推進体制づくりを進めます。

<実績>

子どもエコ・スクールや環境展の開催にあたり意見を頂くとともに、環境基本計画の改定に向けて各種環境施策の検討を行いました。